

日本学術会議主催 安全工学シンポジウム2014 ーサステナブルな社会の安全・安心ー

今年で第44回となる安全工学シンポジウムは、安全工学の発展と関連分野の交流を目的とし、特別講演（3講演）、オーガナイズドセッション（12セッション、計71題）、パネルディスカッション、一般講演（11分野、計44題）を予定しています。

- ◆ 日時：7月10日（木）、11日（金）
9:30～18:10(1日目) / 17:00(2日目)
- ◆ 会場：建築会館ホール・建築学会会議室（東京都港区芝5-26-20）
（JR田町駅、都営地下鉄三田駅（浅草線・三田線）徒歩3分）

主催：日本学術会議総合工学委員会、共催：日本建築学会 他32学協会
URL：<http://www.anzen.org/index.html>

特別講演

7月10日（木）12:40～13:10
「サステナブルな社会を目指した建築・都市環境の課題
～日本建築学会としての取り組み～」
吉野 博 氏（東北大学名誉教授／日本建築学会会長）

7月11日（金）13:00～14:20
「JR西日本における安全の取り組み」
北野 真 氏（西日本旅客鉄道株式会社）
「サステナブルな社会のロボットスーツと安全・安心」
山海 嘉之 氏（筑波大学教授）

オーガナイズドセッション

- | | |
|-------------------------------|--|
| OS-1 自動運転・高度運転支援システムの最新動向 | OS-8 ばらつき・不確かさを考慮した各種材料の実験力学・計算力学の研究動向 |
| OS-2 東日本大震災と地震火災および津波火災 | OS-9 原子力発電所の自然災害等影響評価への取り組み |
| OS-3 産業安全の向上のための現場保安力の強化 | OS-10 火災時の避難安全のバリアフリー |
| OS-4 木質構造物の火災時における安全性 | OS-11 それぞれのリスク管理 |
| OS-5 繰り返される事故-事故防止のあり方を考える- | OS-12 次世代ロケット開発動向および宇宙科学技術研究の今 |
| OS-6 安全・安心・安定な社会づくりに向けた地域継続計画 | |
| OS-7 工学システムに対する安全目標のガイドライン | |

問い合わせ先: 安全工学シンポジウム2014
(幹事学会) 一般社団法人 日本建築学会
TEL 03-3456-2051 FAX 03-3456-2058
E-mail anzen2014@aij.or.jp

**事前登録不要
参加費無料**